

研修教育の効果測定に関する考察

職員研修の効果測定に関する調査結果から

A study about the effect measurement of the training education :
From findings about the effect measurement of the voluntary training

松田 光一郎

MATSUDA Kouichirou

社会福祉法人北摂杉の子会 ジョブサイトひむろ

(Social welfare corporation Hokusetsusuginokokai Job-Site Himuro)

Key words : 研修教育, 効果測定, 質問紙調査

目的

本研究は、社会福祉法人北摂杉の子会ジョブサイトひむろにおける職員研修(毎月1回、1時間)の成果について、研修教育の効果測定に関する調査の結果を基に検討をおこなった。専門的福祉実践の研修教育において、その効果測定の技法に関する研究は極めて立ち遅れている研究分野のひとつといえる。

本研究の目的は、研修教育の効果測定の一般的技法の開発を行う過程のひとつとして、職員研修の参加者らに研修評価に関する調査を実施し、この結果を手がかりとして、効果測定にかかわる要因を析出することにあった。そこで、職員研修の効果を生み出す要因は、福祉現場において必要な専門知識、並びに支援技術の習得と向上を目的とした研修教育を基本とし、職員研修が実施する研修プログラムに対する評価、及び研修テーマや内容等を含めてその全体的評価について、参加者を対象に調査することにより、その主要な要因について分析を試みた。

方法

平成××年6月12日,7月10日,8月14日,9月11日,10月9日までの計5回の職員研修において、質問紙による調査を実施した。なお、調査は平成××年10月9日の研修参加者20名を対象に、過去の研修を顧えて評価を行った。

結果

福祉現場が抱えている問題点や今後の課題を考察するうえでどの研修が役立ったかの設問において回答の高かったのは、「不適切な行動はどのように対応されるのでしょうか?(ABC分析から)」であり、最も役立ったものとして7割強で回答された。福祉現場が抱えた問題点・課題の考察という点については、実際の支援報告とグループワークにより、ABAの視点から原因を推察する研修が現場の問題点・課題の理解が参加者の援助経験と関連づけられる結果となった。また、福祉現場において必要とされる専門的福祉実践の方法を学ぶうえで役立ったかの設問において回答の高かったのは、「不適切な行動はどのように対応されるのでしょうか?(ABAの視点から)」であり、最も役立った

ものとして8割強で回答された。

専門的福祉実践の方法の習得という点については、回答状況において二番目に役立ったものと三番目に役立ったものの回答結果にはどれも大差が見られなかった。

また、最も役立ったものとする回答結果が予想より高かったことから、「事例検討」や「実践報告」と「グループワーク」形式による研修プログラムに対して、参加者の関心も高く効果が期待できることが示された。

考察

本研修教育は、対人援助において必要な知識、技術の習得と専門性の向上を目的として、福祉現場での課題達成をより促進するために組まれたものである。したがって、参加者の回答時の意識の中であえて大きく浮かび上がらなかったものもあると考えられる。その意味では、同じレベルで比較するという質問の設定に問題があったと考えられる。そうした意識調査の方法や、研修が現場で役立ったという回答そのものの質の問題の検討などを引き続き行っていく必要がある。

また、本研究における効果測定が、果たして有効であるかを判断する点において、効果測定の方法や、それを定量的にどう把握するかで評価に大きな影響を与えるものである。したがって、研修効果とは何をもって効果とするのか、効果測定と評価の関係について研修効果の考え方を整理し、明確化することが効果測定的前提であることから、本調査の回答結果には種々の要因、現実的制約が反映しているものと考えられる。今回の調査結果の検討を基にしてこうした要因がどのように関係しているのかについて研究を継続し、例数を増やし多変量解析の各手法等を用いて明らかにしていくことが必要であろう。

参考文献

- 平松陽一(2006)．教育研修の効果測定と評価のしかた．株式会社日興企画．
- 提宇一・青山征彦・久保田享(2007)．はじめての教育効果測定 教育研修の質を高めるために．株式会社日科技連出版社．